



JASCC学術委員会・遺伝性腫瘍症候群WG

がん高度実践看護師WG講演会 in Tokushima 2026年度がん看護インテンシブコースII

遺伝情報に基づく、ぬくもりのあるがん医療実践者を育成するコース(インテンシブコース)

「がん医療の新たなニーズやアンメットニーズに

応えるケアの質向上を推進する看護師養成」

遺伝診療における原点回帰

～高度実践看護における役割～



平沢 晃 先生 10:05～11:05

(岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野 教授)

「遺伝性腫瘍症候群 ～看護の視点から知っておくべきこと～」



荒木 もも子先生 11:10～12:10

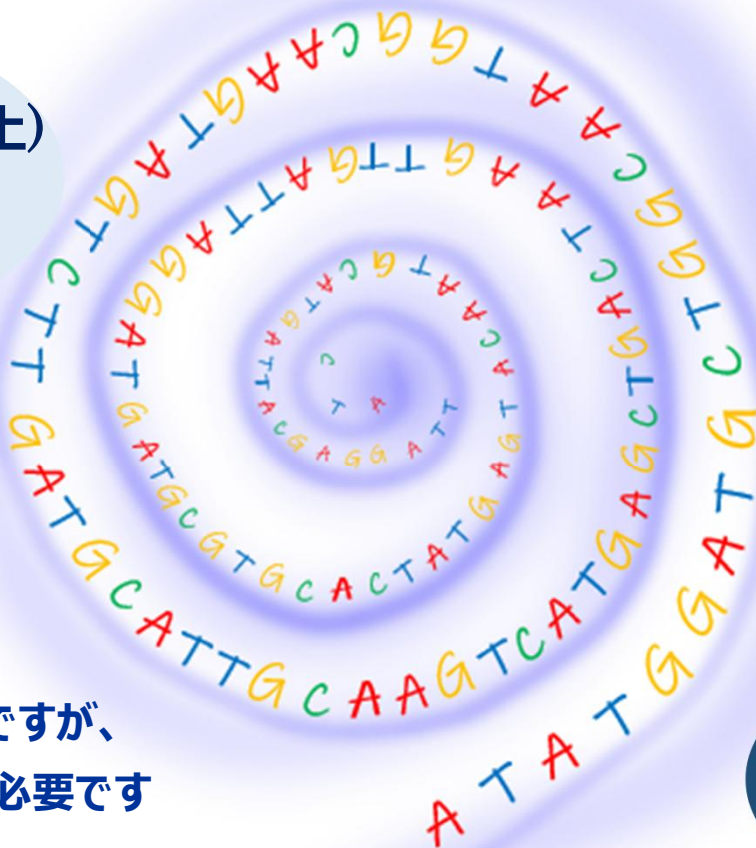
(島根大学医学部附属病院臨床遺伝・ゲノム医療センター 認定遺伝カウンセラー)

「遺伝性腫瘍症候群に対するアドバンスな看護実践」

2026年7月25日(土)

10:00～12:15

WEB開催



※**参加費無料**ですが、
事前申し込みが必要です

参加締切
7月10日まで

参加申し込み方法：右記のQRコードを読み取ってお申し込みください。
※ご所属、氏名、職種、メールアドレスの登録が必要です。

主催：JASCC学術委員会・遺伝性腫瘍症候群WG
高知県立大学大学院看護学研究科 山口大学大学院医学系研究科保健学専攻
愛媛大学大学院医学系研究科 鳥取大学大学院医学系研究科医科学専攻



【お問合せ先】徳島大学 がんプロ 088-633-9649 / ganpro@tokushima-u.ac.jp

■講師紹介

平沢 晃 先生

慶應義塾大学医学部をご卒業後、慶應義塾大学病院の産婦人科に入職され、2018年岡山大学学術研究院医歯薬学域臨床遺伝子医療学分野教授、および、岡山大学病院臨床遺伝子診療科科长にご就任されています。現在では、「ゲノム情報に応じたがん予防にかかる指針の策定と遺伝性腫瘍に関する医療・社会体制の整備および国民の理解と参画に関する研究」班の代表やに携わっておられます。MGPTの手引書などの書籍をご担当されています。

■内容

遺伝診療による予防医療が普及し、遺伝性腫瘍症候群について考える機会が増えてきております。本講演では、これから遺伝性腫瘍症候群について学んでいく上で、看護師として知っておくべき基本的な原点に関して、解説頂く予定です！

平沢晃先生



荒木もも子先生



■講師紹介

荒木もも子 先生

2003年に島根医科大学医学部看護学科卒業、同附属病院入職、2009年島根大学大学院医学系研究科（看護管理学）を、2020年に近畿大学大学院総合理工学研究科（遺伝カウンセラー養成課程）修了されております。現在は看護師兼認定遺伝カウンセラーとして臨床遺伝・ゲノム医療センターに所属しながら、岡山大学大学院にて遺伝性腫瘍症候群の支援体制の構築について取り組まれております。目標は若年がん死を減らすこと！です

■内容

令和8年度の診療報酬の改定にもあるように、遺伝医療、ゲノム医療はさらなる拡大が予想されます。全ゲノム時代の訪れもそう遠くなく、今後、患者さんやご家族の選択肢はさらに複雑化されていくと考えられます。そこで、これからのがんゲノム医療について、意思決定支援に関わることにに関して、一緒に考える時間となるように話題を提供して頂く予定です！